



DX戦略の策定について

百十四銀行（頭取 綾田 裕次郎）は、2023年度から2025年度までを計画期間とするDX戦略を策定しましたので、その概要を下記のとおりお知らせします。

記

1. 目的

人口減少・超高齢化の進展に加え、脱炭素・循環型社会への移行やデジタルシフトの加速により地域のサステナビリティに関わる課題が多様化・複雑化するなど、地域金融機関を取り巻く環境は急速に変化しています。

このような環境変化の中で、百十四グループが地域社会とともに持続的に成長するため、2023年3月に「長期ビジョン2030」と長期ビジョン実現に向けた中期経営計画「創ろうイ・イ・ヨ♪」を策定し発表しました。

「創ろうイ・イ・ヨ♪」ではDXを成長エンジンの一つと位置付け、今回策定するDX戦略に基づき百十四グループのDXをより一層推進することで、ウェルビーイングな地域社会の創造と百十四グループのサステナビリティ向上をめざしてまいります。

2. 概要

百十四グループでは、DXを「データ及びデジタル技術を基点としたビジネスを変革する成長エンジン」と定義し、DX認定事業者として6つの重点分野^{※1}に取り組むことで、「百十四グループマテリアリティ（重要課題）」の解決を図ってまいります。

DX戦略の詳細については、添付のプレゼンテーション資料をご覧ください。

以上



※1 「非対面チャネルの充実」「データ利活用等」「店舗・業務のデジタル化」「DX人材の育成・採用」
「お客さま・地域のDX化支援」「新規ビジネスの創出」

中期経営計画「創ろうイ・イ・ヨ♪」
DX戦略
[2023年4月~2026年3月]

現状認識とDX戦略の方針

- 前中期経営計画では、各種デジタルサービスの導入に加え、「DX認定」※1及び事業適応計画(情報技術事業適応)※2の認定を取得した。
- 今後の更なるDX推進のため、デジタル関連サービス等の一層の充実や、IT・デジタル人材の育成を進める。

◆前中計期間中のDX推進の成果と課題

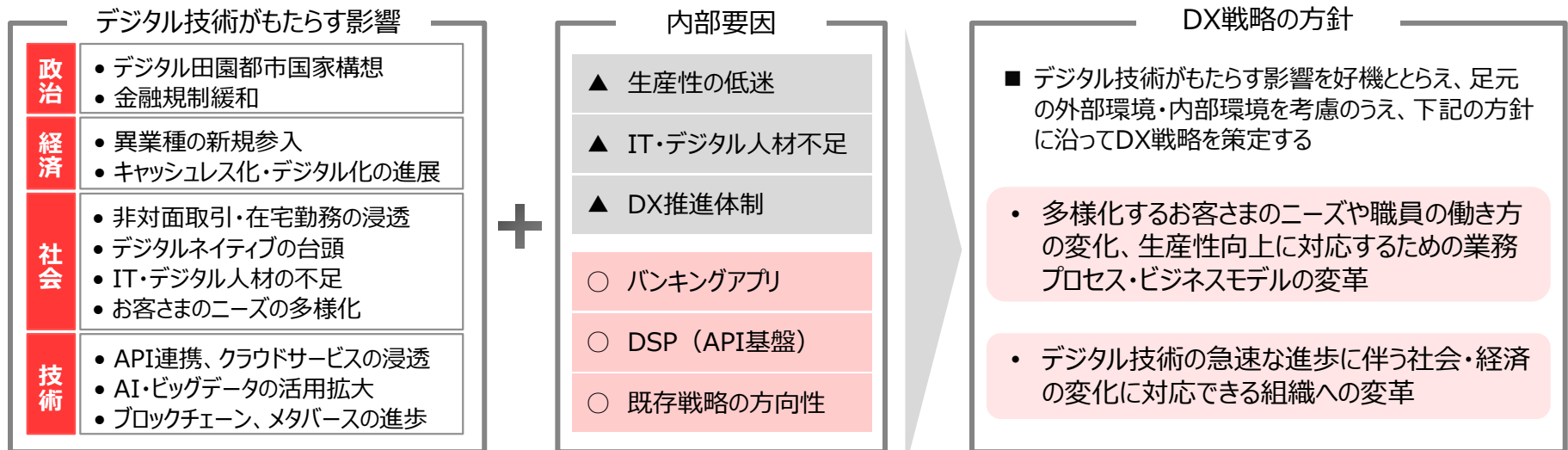
成果

- DSP(API基盤) ※3、バンキングアプリ等のデジタルサービスの導入
- デジタル戦略室設置とデータ利活用の基盤整備着手
- 「DX認定」及び「事業適応計画(情報技術事業適応)」の認定取得

課題

- デジタル関連サービス等の一層の充実
- デジタル技術を活用した新規ビジネスの創出
- グループ全体のDX推進体制・管理体制の整備
- DX推進に必要なIT・デジタル人材の育成

◆DX戦略の方針



※1 「情報処理の促進に関する法律」に基づき、経営ビジョンの策定やDX戦略の実現に向けた体制整備などを行い、DXを推進するための準備が整っている事業者を経済産業省が認定する制度。

※2 「産業競争力強化法」に基づき、DXの実現に向けた取り組み(事業適応)に関する計画。計画が所管省庁に認定されることにより、取り組みに対し税制措置等を受けることが可能。

※3 デジタルサービス・プラットフォームの略。クラウド基盤上に標準的な業務マイクロサービス群、基幹系連携連携機能を備えたAPI基盤。

DX戦略の骨子

- 6つの重点分野に取り組むことで、お客さまへの新たな価値・体験の提供と地域社会のデジタル化推進による利便性向上と経済活性化を実現する。

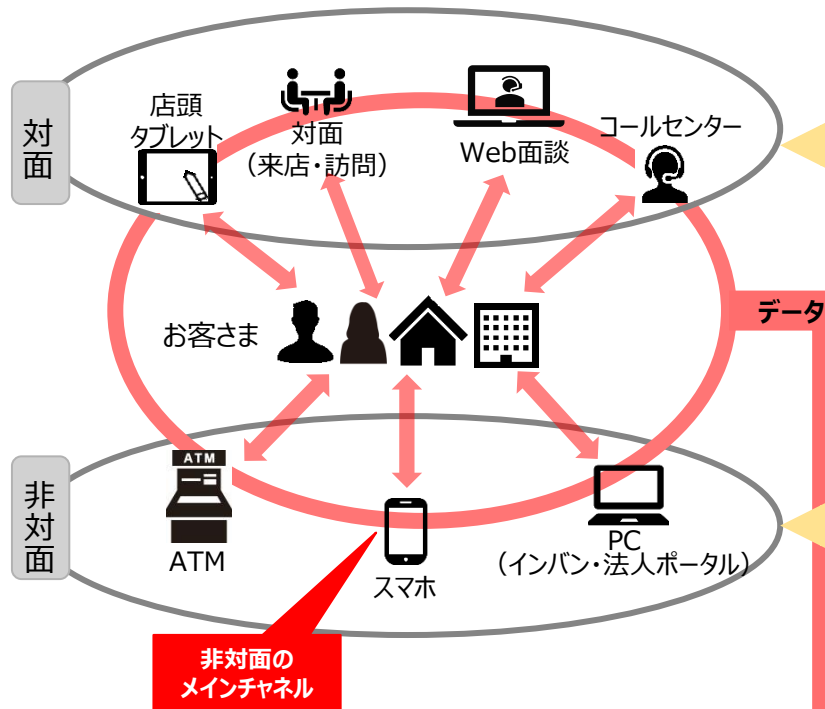
百十四グループのDX	「データ及びデジタル技術を基点としたビジネスを変革する成長エンジン」と定義し、お客さま・地域への新たな価値・体験の提供及び生産性の飛躍的向上を実現する
重点分野	<ol style="list-style-type: none">1. 非対面チャネルの充実 新たな価値・体験 生産性向上<ul style="list-style-type: none">● 非対面チャネルの機能拡充により、お客さまとの接点を確保し、多様化するニーズに対応する● 対面チャネルと非対面チャネルを有機的に連携させながら、垣根のない顧客体験の実現をめざす2. データ利活用等 新たな価値・体験<ul style="list-style-type: none">● データを基点として新たな価値・体験の提供やビジネス課題の解決につなげる「データドリブン経営」を実現する3. 店舗・業務のデジタル化 新たな価値・体験 生産性向上<ul style="list-style-type: none">● システムインフラの整備とデジタル技術の活用により業務プロセスを改革し、営業店・本部の業務の生産性とUX※1の向上を実現する● 基幹系システムは安定稼働を前提にスリム化をめざす4. DX人材の育成・採用<ul style="list-style-type: none">● DX戦略を効果的に遂行するために必要となるDX専門人材、DX推進人材を計画的に育成・採用する● 全職員がDXを自分事と捉え、主体的に変革に取り組むため、DXマインドの醸成とITリテラシーの向上を図る5. お客さま・地域のDX化支援 新たな価値・体験<ul style="list-style-type: none">● 多様化するお客さま・地域の課題に対応するために、取扱商材の拡充と川上・川下のコンサル領域への進出に取り組み、「伴走型支援」を実践する6. 新規ビジネスの創出 新たな価値・体験<ul style="list-style-type: none">● DSPの活用やグループ会社等との連携により、新サービスや新たなビジネスモデルを創出する
IT投資方針	<ul style="list-style-type: none">● 重点分野への優先的な予算配分● 更改・制度対応案件の選別と費用抑制

※1 ユーザーエクスペリエンスの略。ユーザーがサービスや製品の利用を通じて得られるすべての体験。

重点分野「非対面チャネルの充実」「データ利活用等」

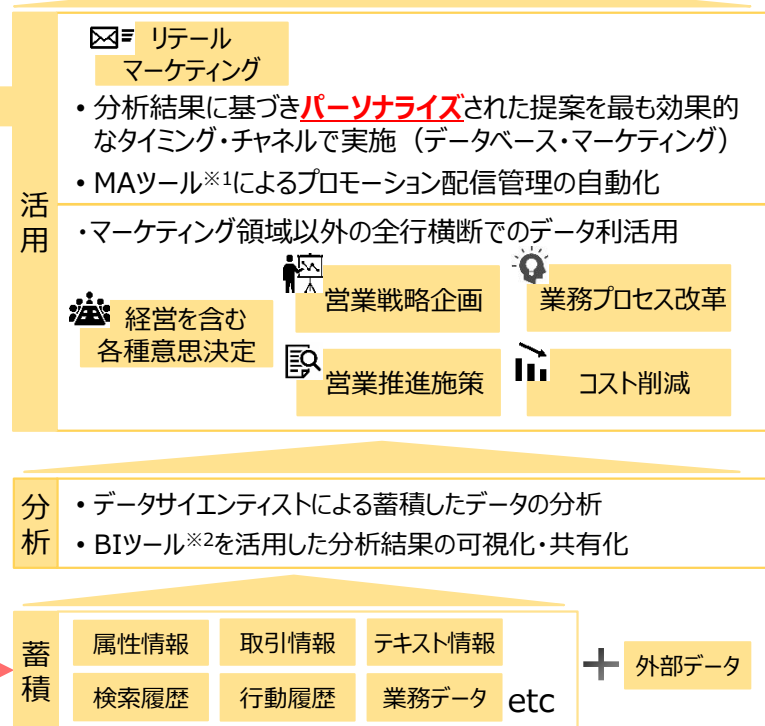
- 非対面チャネルの機能拡充とデータの活用により、お客さまの利便性向上を徹底追及する。
- これにより、お客さまが「時間や場所を選ばず」、「一人ひとりのニーズに沿った最適な提案を受けられる」状態をめざす。

◆非対面チャネルの充実と対面チャネルとの連携



◆データ利活用等

データドリブン経営の実現



※1 マーケティングオートメーションツールの略。マーケティング活動を管理・自動化・効率化するツール。

※2 ビジネスインテリジェンスツールの略。企業が蓄積するデータを分析・可視化し、データに基づいた意思決定や課題解決を支援するツール。

重点分野「店舗・業務のデジタル化」

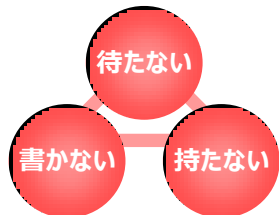
- 業務のデジタル化やシステムの整備を進め、お客さまの負担軽減・待ち時間短縮と、営業店・本部業務の合理化を図る。
- これにより、対面でお客さまの課題や悩みを解決するためのコンサルティング営業力の強化をめざす。

◆営業店・本部業務のデジタル化

主要施策

- ◆ 非対面チャネル
 - ・百十四銀行MyPageサービス（個人ローンのWeb完結）の浸透
 - ・法人ポータル導入、事業性融資契約電子化の検討開始
- ◆ 対面チャネル
 - ・店頭タブレットの導入と機能拡大（開発中）
 - ・リモート窓口の導入（本部等の行員が対応）
- ◆ 本部業務（人事システム、AML・CFT ※1、経費精算等）
 - ・SaaS ※2、AI・RPA ※3、スマホ・タブレット等の活用

（営業店預為業務）

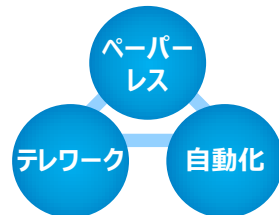


UXの向上

お客さま

- ・書類記入や待ち時間の短縮
- ・コンサルティング時間の増加による課題解決

（本部業務）



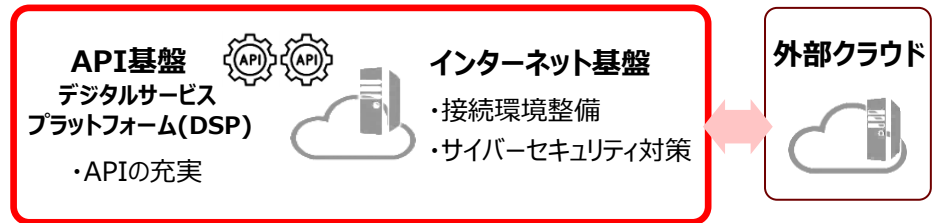
生産性の向上

百十四グループ

- ・効率化による時間の創出
- ・紙やレガシー機器の削減によるコスト抑制
- ・心地よく働ける職場の実現

めざす姿

◆システム・デジタル基盤整備



基幹系システム（勘定系・情報系）

- ・安定稼働維持
- ・制度案件対応
- ・コスト抑制
- ・アーキテクチャ刷新による構造スリム化検討

UXの向上

お客さま

- ・新たなデジタルサービスの早期利用
- ・多様なチャネルを通じた利便性の高いサービス

行内システム

- ・外部クラウドへの移行、SaaS利用等による軽量化
- ・ローコード開発※4による行内業務の効率化

生産性の向上

百十四グループ

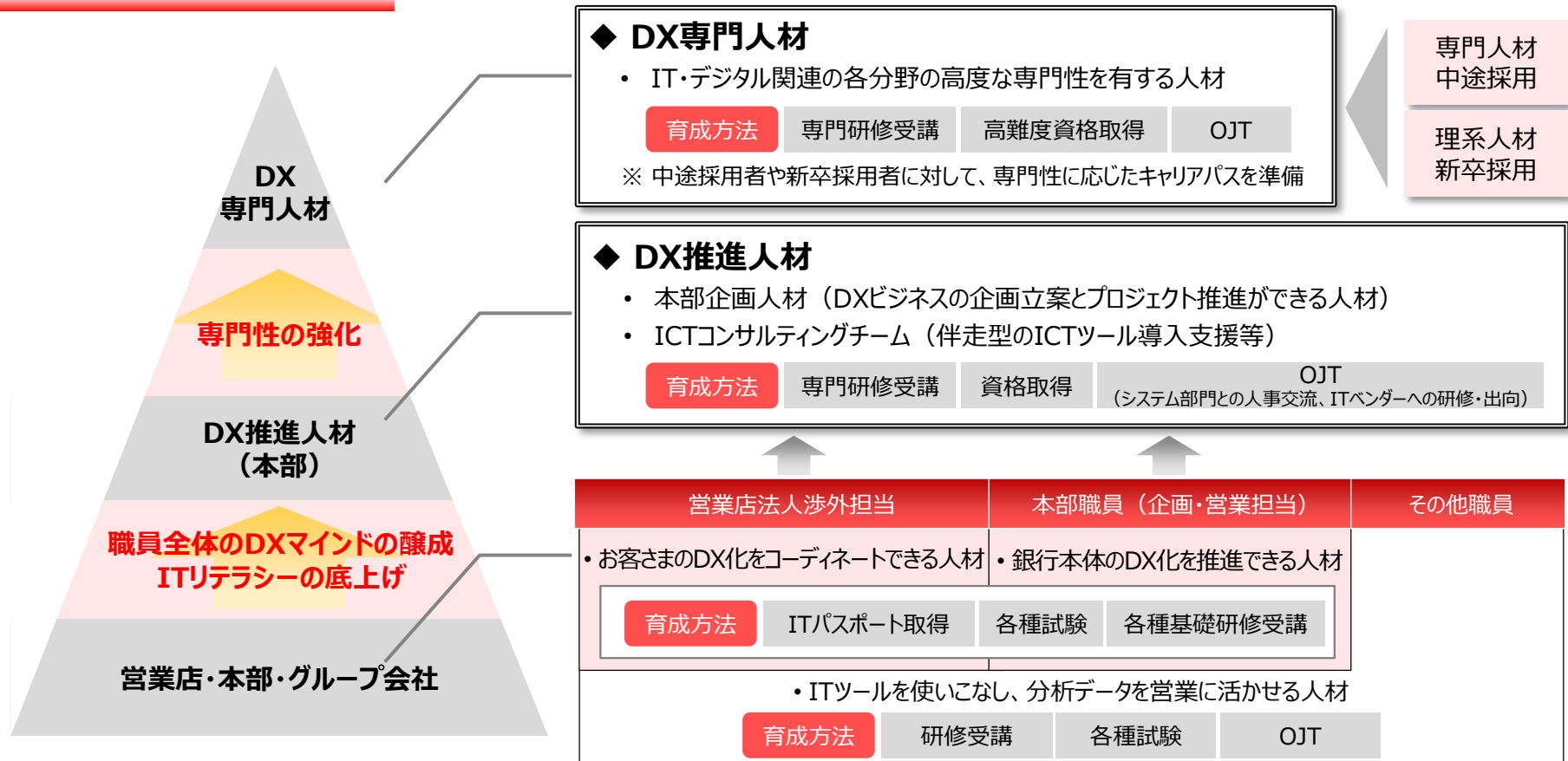
- ・サービス開発の迅速化
- ・効率化による時間の創出
- ・システム軽量化によるコスト抑制、運用負荷の軽減

※1 アンチ・マネー・ローンダリング アンド カウンタリング・ファイナンス・テロリズムの略。マネー・ローンダリング及びテロ資金供与防止対策。
 ※2 ソフトウェアアズアサービスの略。サース、或いはサーズと呼ぶ。サービス提供事業者側で稼働しているサービスをインターネットなどのネットワークを経由して、ユーザーが利用できるサービス。
 ※3 ロボティック・プロセス・オートメーションの略。PC上で行う業務をソフトウェアロボットによって自動化すること。
 ※4 可能な限りプログラミング作業を減らし、マウス操作などで用意された部品を組み合わせることでアプリを開発する手法。

重点分野「DX人材の育成・採用」

- DX戦略を効果的に遂行するために必要となるDX専門人材、DX推進人材を計画的に育成・採用する。
- これにより、全職員がDXを活用して主体的に変革に取り組めるDXマインドとITリテラシー※1を備えた組織をめざす。

◆DX人材の育成体系と概要

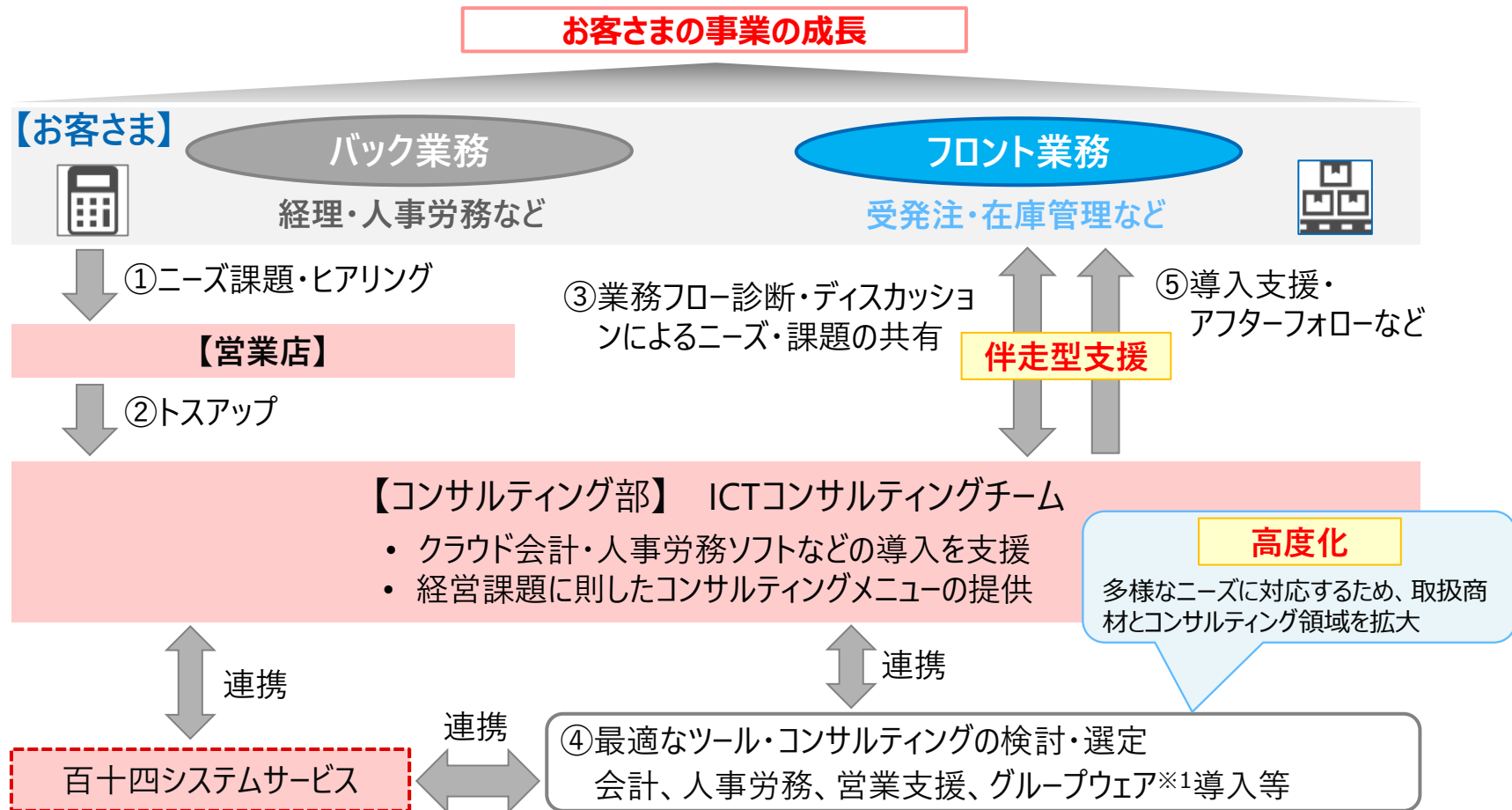


※1 利用可能なITを使いこなし、ビジネス課題の解決や事業・業務を効果的に遂行するための能力。

重点分野「お客さまのDX化支援」

- 会計や人事労務管理などのバック業務に加え、営業支援・受発注管理などのフロント業務を含めた、ICTコンサルティングサービスの取扱商材やコンサルティング領域を拡大する。
- これにより、人手不足などのお客さまの経営課題解決に伴走し、事業の成長に資するコンサルティングをめざす。

◆ICTコンサルティングサービスの高度化とお客さまの伴走支援



※1 企業などの組織に所属する人々のコミュニケーションを円滑にし、業務の効率化を推進するためのソフトウェア

重点分野「地域のDX化支援」

- 国の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」の推進に向け、グループ会社や外部企業との協業によるDX推進体制を整備する。
- これにより、デジタルの力を活用したウェルビーイングな地域社会の創造をめざす。

百十四グループ

地方に仕事をつくる

- ✓ 中小・中堅企業DX(キャッシュレス決済等)
- ✓ 「観光DX」、「スマート農林水産業」
- ✓ 地方大学を核としたイノベーション創出 等

人の流れをつくる

- ✓ 「転職なき移住」の推進(サテライトオフィス等)
- ✓ オンライン関係人口の創出

デジタルの力を活用した地方の社会課題解決



デジタル田園都市国家構想
DIGIDEN

魅力的な地域をつくる

- ✓ 「教育DX」、「医療・介護分野DX」、「地域交通・インフラ・物流DX」 等

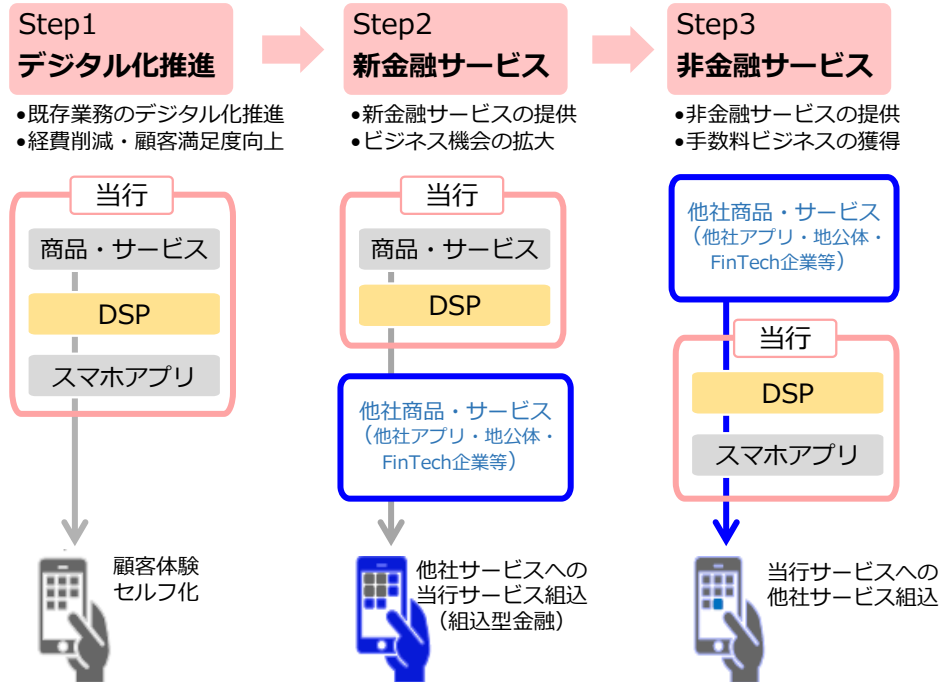
結婚・出産・子育ての希望をかなえる

- ✓ 仕事と子育ての両立など子育てしやすい環境づくり
- ✓ こども政策におけるDX等のデジタル技術を活用した地域のさまざまな取組みの推進

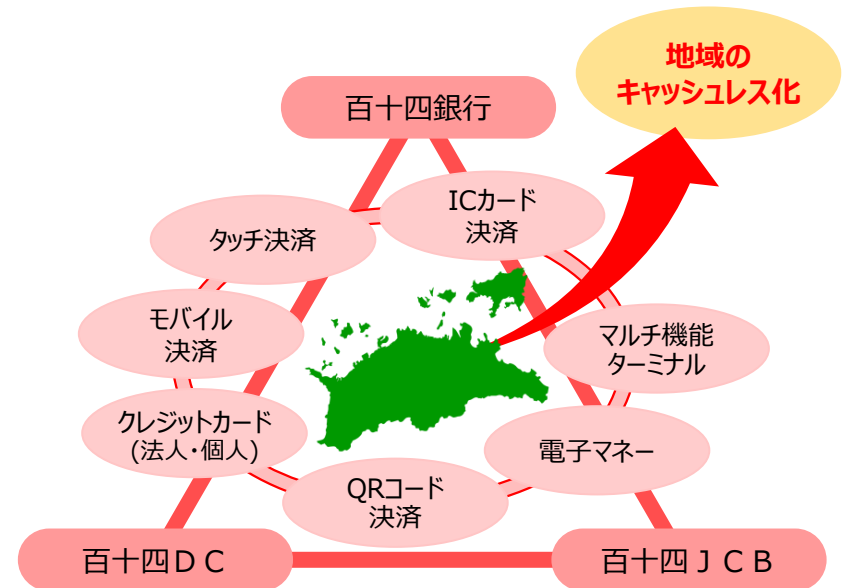
重点分野「新規ビジネスの創出」

- デジタルサービスプラットフォーム（DSP）の活用や、グループ会社等との連携により、新規ビジネスの創出を図る。
- これにより、地域社会のデジタル化を一層推進し、地域経済の活性化をめざす。

◆ DSPを活用した新サービスの創出

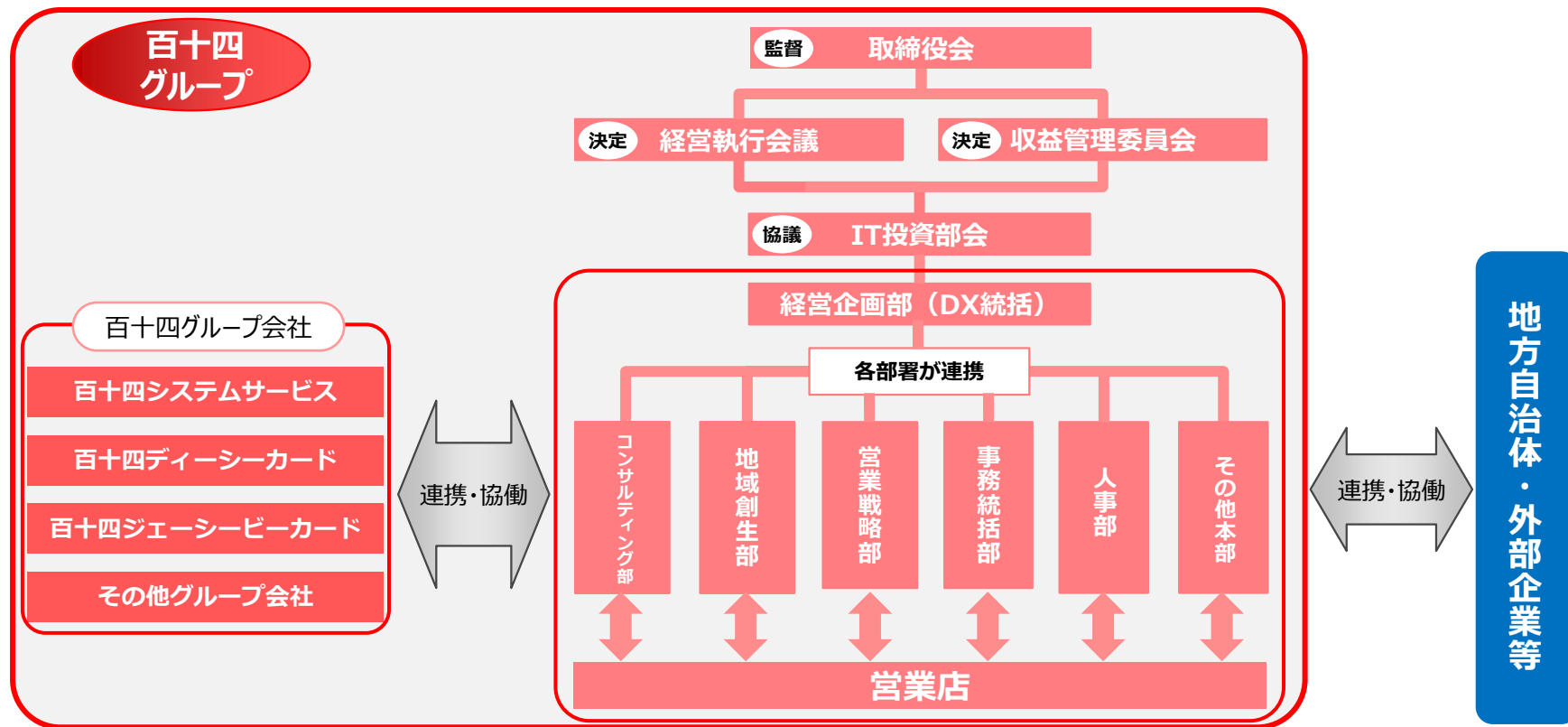


◆ グループ会社等との連携



DX推進体制

- 取締役会の監督の下、収益管理委員会にて「短期・中期システム開発計画」を、経営執行会議にて「大型案件の開発」について審議・決定している。
- 先進的なデジタル技術の活用に向け、外部企業やグループ会社との連携を強化している。
- 環境の変化に応じて、DX戦略を着実に実行するために最適なDX推進体制を適宜検討・再構築していく。



「地域のお客さま：新たな価値・体験の提供」 「地域社会：地域のデジタル化による利便性向上・経済活性化」

DX戦略の達成状況に係る指標（KPI）

- 中期経営計画最終年度におけるDX戦略のKPIを設定し、各重点分野のめざす姿を実現していく。

重点分野	指標	2022年度	2025年度 (中計最終年度)
非対面チャネルの充実	■ バンキングアプリ（2023年2月リリース）の下記指標 ①ユーザー数 ②アクティブユーザー率 ③バンキングアプリ取引割合※1	①1.5万人 ②－％ ③0.4％	①20万人 ②70％ ③30％
店舗・業務のデジタル化	営業店預為事務量の削減	－	2割削減
DX人材の育成・採用	DX人材※2の創出	－	+10名
－	「DX推進指標」による自己診断結果の平均値	1.8 ※3	3.0

※1 バンキングアプリ、個人インターネットバンキング、ATM、窓口に占める割合（対象取引：振込）

※2 DX専門人材、DX推進人材

※3 2022年8月末時点

(参考資料) マテリアリティに基づくDX戦略

- DX戦略における6つの重点分野に取り組むことで、百十四グループの6つのマテリアリティの解決を支援する。

百十四グループマテリアリティ	主な取組み	DX戦略・重点分野 (※)		SDGsのゴール
地域経済活性化への取組み	<ul style="list-style-type: none"> 地方公共団体等との共創体制の構築による「まち」の活性化 百十四グループによる法人のお客さまの課題解決に向けた伴走 	非対面チャネル DX化支援	データ 新規ビジネス	
人生100年時代への対応	<ul style="list-style-type: none"> 百十四グループによる個人のお客さまの生涯のライフデザインへの伴走 将来世代に対する金融教育の実践 	非対面チャネル	データ	
多様な人材が活躍・成長できる環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> D&I推進による多様な人材が活躍できる職場環境の整備 挑戦機会創出による「働きがい」と、ワークライフバランス充実による「働きやすさ」の向上 健康経営推進に向けた、健康増進施策の実施 	デジタル化	DX人材	
DXの実現と地域社会のデジタル化	<ul style="list-style-type: none"> デジタルを活用した業務プロセス改革及びデジタルチャネルの高度化 SNSやホームページ等のコンテンツ拡充 百十四グループによるお客さまのDX化推進 	非対面チャネル デジタル化 DX化支援	データ DX人材 新規ビジネス	
気候変動等、環境課題への取組み	<ul style="list-style-type: none"> 2050年カーボンニュートラルに向けた脱炭素・循環型社会への率先した取組み サステナブルファイナンス等によるお客さまの脱炭素化に向けた取り組みの強化 	データ 新規ビジネス	DX化支援	
持続可能な経営基盤の構築	<ul style="list-style-type: none"> ガバナンスの強化 収益構造改革による企業価値の向上 資本戦略の強化及びリスク管理態勢の高度化 システム・デジタル基盤の強化 	非対面チャネル デジタル化	データ	

※凡例

非対面チャネル …非対面チャネルの充実	データ …データ利活用等	デジタル化 …店舗・業務のデジタル化
DX人材 …DX人材の育成・採用	DX化支援 …お客さま・地域のDX化支援	新規ビジネス …新規ビジネスの創出

(参考資料) 中期経営計画におけるDX戦略の位置付け

- 中期経営計画の各戦略を効果的に推進するため、データ及びデジタル技術を活用したDX施策を遂行し、ビジネスの変革を図っていく。

百十四グループのDX

「データ及びデジタル技術を基点としたビジネスを変革する成長エンジン」と定義し、お客さま・地域への新たな価値・体験の提供及び生産性の飛躍的向上を実現する



中計の戦略体系図と主要なDX施策

